

## 川辺町小学校再編計画説明会要旨

第3回 日時：令和4年5月24日（火）19:30～21:00  
会場：川辺町北部公民館 研修室（下麻生・下吉田区対象）

- 次 第
- ・ 町長あいさつ
  - ・ 小学校再編計画のこれまでの経緯から計画案までを説明
  - ・ 質疑・意見
  - ・ 教育長あいさつ

質疑・意見（質疑・意見及び回答は実際の発言を簡略化して記載しています。）

- Q ・ 課題も有るとのことであるが開校までに消去していただきたい。  
A ・ より良い案を検討し解決していきたい。
- Q ・ 計画では体育館が一つとなっているがクラス数が増え使う頻度も増えると思われるが体育館はどうするか。  
A ・ 他の体育館を使うことや行事などは中央公民館のホールを使うなど、より良い方法を検討する。
- Q ・ 運動場を広げることも考えられたい。  
A ・ 駐車場部分を取り入れ拡張、民地の買収も視野に入れる。
- Q ・ 児童1人でもスクールバスを約束しておいてほしい。  
A ・ 1人だから行かないとかはあってはならないと考え今後計画検討する。
- Q ・ 既存中学校の建替えも視野に入れた小中一貫校の検討をされているか。  
A ・ 改築時に検討することとなるが現時点では考慮していない。
- Q ・ 目標年次は2030年ですか。  
A ・ 8年後の2030年を目指しています。
- Q ・ 説明会は川辺町全体でいつまで行われますか。  
A ・ 現在の説明会は基本的な方向性の説明で今年度で終了予定です。  
・ 今後は6つの専門部会での詳細検討を行いホームページでの公開や説明会を開催します。
- Q ・ 跡地の問題も並行して進めていかなければならないので基本姿勢を示して頂きたい。  
A ・ 跡地利用部会で、校舎、体育館、運動場をどう利用するか検討する。
- Q ・ 運動場が狭くなるのではという懸念がある。小学校用、中学校用のグラウンドを用意してほしい。  
A ・ スケジュールの組み方など色々な方法があるが手狭となる。意見として承る。
- Q ・ 地域のシンボルが無くなる寂しさはあるが、それ以上に新しい学校のメリットが分かれば、その寂しさは消えると思う。  
A ・ 新たな学校のメリットが見いだせれば寂しくないと言って頂き少し安心した。

- Q ・ 跡地を地域住民が利用しやすいようにしていただきたい。
- A ・ 色んな用途が考えられるが川辺町にとって一番良い方法を検討すべきと考える。
  
- Q ・ 遠くの小学生はスクールバスになると思うが中学生はどうなるか。
- A ・ 遠くの小学生はスクールバス。中学生は現状維持と考える。
  
- Q ・ 昼休みや自由時間に9歳差のある子ども達が一斉に外に出るとグラウンドが足りないとか体格差、年齢差の体制はどう考えるか。
- A ・ グラウンドを分けるとかの対策も必要と考える。また、年齢差はメリットでもあり中学生が小学生の面倒を見るとか指導するとかもある。色んな検討や指導は必要であると考え。
  
- Q ・ スクールバス通学になればルートにもよるが通学時間は早くなるかもしれないですね。
- A ・ より良い運行ができるよう検討します。